

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

平成25年3月29日

計画の名称	つがる市における循環のみちの実現		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	つがる市
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。		

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 下水道処理人口普及率を68%（H22当初）から70%（H26末）に増加させる。
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	<p>下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）</p>
---------------	---

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
下水道処理人口普及率	68%	68%	70%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	994百万円	A	932百万円	B	0百万円	C	62百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.7%
-------	---------------	--------	---	--------	---	------	---	-------	---------------------------	------

交付対象事業

A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A-1-1	下水道	過疎	つがる市	直接	—	分流	新設	朝日地区枝線整備	汚水管 φ=150・200mm L=448m	つがる市						51	
A-1-2	下水道	過疎	つがる市	直接	—	分流	新設	林地区幹線・枝線整備	汚水管 φ=75～200mm L=7,100m	つがる市						575	
A-1-3	下水道	過疎	つがる市	直接	—	水セ	増設	つがる市木造浄化センター	処理能力 3,020m ³ /日	つがる市						166	
A-1-4	下水道	過疎	つがる市	直接	—	分流	新設	調査・設計等	管渠 L=7,548m	つがる市						106	
A-1-5	下水道	過疎	つがる市	直接	—	分流	新設	効率的な事業実施のための基本的な計画策定業務	全体計画 A=約364ha	つがる市						34	
											合計					932	

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
C-1-1	下水道	過疎	つがる市	直接	—	新設	朝日地区端部枝線（単独管）整備	汚水管 φ=150mm L=7m	つがる市						1		
C-1-2	下水道	過疎	つがる市	直接	—	新設	林地区端部枝線（単独管）整備	汚水管 φ=150mm L=800m	つがる市						53		
C-1-3	下水道	過疎	つがる市	直接	—	新設	調査・設計等	管渠 L=807m	つがる市						8		
											合計					62	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1-1	基幹事業である枝線（A-1-1）と接続した端部枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。	
C-1-2	基幹事業である幹線・枝線（A-1-2）と接続した端部枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。	
C-1-3	基幹事業である幹線・枝線整備の調査・設計等（A-1-4）と接続した端部枝線整備調査・設計等を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。	

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

